



早稲田大学 立川稻門会会報

2018年12月20日
第23号

発行 立川稻門会
編集者 小林和雄
事務局 立川市富士見町
2-36-43
<http://tachikawatomon.com>



小林和雄会長ご挨拶

第45回定期総会 開催

平成30年10月13日（土）午後5時30分より、立川グランドホテルにて開催されました。



早稲田大学 立川稻門会 第45回定期総会
立川グランドホテル 平成30年10月13日

第一部 定時総会

森山善弘幹事長の司会で第一部・定時総会を行いました。小林和雄会長の開会挨拶、来賓紹介の後、宮木博司業務幹事が議長に選出され、議事に入りました。

以下の議題について各担当役員から説明があり、議題は全て承認されました。

- 議題1 平成29年度会計報告
- 議題2 平成29年度活動計画
- 議題3 平成29年度監査報告
- 議題4 平成30年度活動計画

第二部 演奏会

浅谷佳秀業務幹事によるピアノ演奏が行われ、パン「24の前奏曲集」より第1番、第15番、リスト「波を渡るパウロの聖フランシス」を、また、最後にはアンコールに応える形で「都の西北」を弾いて頂きました。



第三部 懇親会

小林章子副会長と相川雅信副幹事長の司会で第三部・懇親会を行いました。



早稲田大学・服部令地域会（慶應大学）・内藤隆久会長、中央大学学員会立川支部・山崎省次支部長よりご挨拶をいただいた後、廣瀬俊夫業務幹事からの会員紹介（高橋匡弘さん、頭山太郎さん）があり、志村順子元会長の乾杯で歓談が始まりました。その後、同好会（ゴルフ愛好会、稲酔会、散策の会、早稲田ラグビーを愛する会、若手の会、等）の紹介が続き、最後は相川雅信副幹事長の指揮の下、全員で応援歌・紺碧の空と、校歌・都の西北を歌いました。



特集：地域社会と共に歩む

地域の様々な活動にも、沢山の稲門会の方が携わっていらっしゃいます。

今回は、立川商工会議所会頭として立川市の経済界をリードされている佐藤浩二氏にお話を伺いました。

(インタビュー 小林和雄、広報委員)

地域社会に寄り添う

就職するまで

(小林) 佐藤会頭のご出身は、どちらですか？

(会頭) 生れは、杉並の馬橋というところですが、両親が新潟の高田市の出身なので、終戦近くには高田に疎開して育ちましたので、高田育ちの新潟県人、故郷は新潟と思っています。住んだのは7、8年ですが一番人生の中で長いと思います。

(小林) 当時の食料事情は如何でしたか？

(会頭) 新潟は米どころですから、食料に困った記憶はないですが、代用食をよく食べました。道端に生えている酸っぱい味のするイタドリという茎の中が中空の草も食べました。

(小林) 会頭は、昭和四年のご卒業ですが、どういう経緯で多摩信さんに入行されたのですか？

(会頭) 当時はオリンピック後で景気も悪く、私も四年で卒業出来ないくらい、

成績も悪く、なかなか勤め先がありませんでした。ただ、家内とは18歳の時に知り合いましたが、4年の終わり頃突然結婚したくなり結婚の申込みに鳥取まで行きました。その頃同級生のおじさんが多摩信を紹介してくれまして、受験したら採用されたという次第です。信用金庫が何をするところか知らなかつたのですが、結婚のために就職したようなものですね。このおじさんも早稲田出身でした。



(小林) どのような大学生生活を送っていたのですか?

(会頭) 専ら、学生運動で過激派のルーツのような組織があつて、参加してデモに参加しました。いま考えると麻疹みたいなものですが、理論としては、しっかりしていたと思います。学校に行つても、授業は代返で出席せず、自治会室にたむろしていました。

(小林) 今の会頭の様子からは考えられませんが、世の中に対する不信のようなものがあつたのですか?

(会頭) 革命を夢に見るくらい思っていました。今の学生は不思議なくらいおとなしいですね。当時は各大学ともそのような感じでしたね。親も心配していて「アカ」だけにはなるなど言われました。

(小林) そのようなことも関係して、一年余分に学生をされていたのですね

(会頭) 結婚しようと思つ



たのは、自分の本心からの気持ちでした。それ以外は大体流されてきていますね。ただ、自分が今やつていることだけは、一所懸命やろうと思つていました。

(小林) 多摩信の理事長になられて、「自己資本比率」より「地元のために」という考えに変わってきたように思いますか?

(会頭) 理事長になつたとなくてはいけないと、思いました。これは学生運動と一緒にかもしれません。中小企業は動いていますから、良い企業は金融機関に頼らない、馳目なところは消えていく。この中間のところは、良くなれば頼らないし、悪くなれば消えていく。これでは金融機関としての存在価値が無いわけですね。この時に設立の原点に

在価値は、調子の悪くなつた中小企業を助けて、はじめて存在価値があると思います。

(小林) 会頭のおっしゃる改革は、お金だけではなく、お客様に如何に寄り添うか、事業の手助けをするという点に重点を置いた訳ですね。

(会頭) それが出来なければ、成長のための資金ですか、財務の問題も生まれてこない。また、負債の多い会社は負債を減らさなければいけない。金融機関の収益の源泉の融資を減らして褒められるというのは、それまで無かったことです。企業にとって必要なことをまずやる、それが価値だと思います。

(小林) 多摩信さんの名前の通り、中小企業、地元密着で来られたと思いますが、その流れで商工会議所の会頭のお仕事も一緒ですね。

(会頭) 幸い、多摩信でやっていた価値を見出す仕事と商工会議所の会頭としてやっていることは、全く一緒ですね。その意味では目指すところは一緒なので、違和感なく会頭の仕事が出来ます。

商工会議所での取り組み

(小林) 会頭の立場で見て、この地域の中小企業はどういう感じですか？
(会頭) 時代が変わり、産業革命が200年前に興きて、これはその次の世代に、結果として豊かな時代をもたらしましたが、その影で犠牲になっている事業もあります。時代が変わったときに、適応しない事業は消える、変化に適応できない、人同様でそのようなことに対応する技術を持つていなくてはいけない。今は、AI、ITの技術革新で産業も変化している。その変化に対応出来ていているところは、急速に良くなる、出来ないところはその逆で衰退していく。格差とはこのことで、次に社会が高齢化しているため後継者がいない、後継者を作ることが緊急の課題と思います。

(小林) いま、商工会議所で力を入れていることは、どんなことですか？

(会頭) 創業と事業承継の相談業務です。その他、健康問題、環境問題などもやっています。サポートの意味では販路拡大、マッチングなどもやります。もう一つ大きいのは、環境といいますか、街が良くなっている所もありますが、立川にはそういうところはないですね。街が良くなっている人が来てくれる事が大切ですね。このための環境作りが必要です。立飛さんが東レパンパシフィックをやつてくれますが、願つてもなきことで、世界中から人が来てくれて賑わうと思いま

(会頭) 会頭にとって、早稲田大学とは、どのようなイメージでしょうか？

(会頭) 校歌が象徴だと思いますね。歌詞に良いことがいっぱい書かれています。もう一つは、早稲田には門がない、街の中にあって開放的で開かれたキャンパス。学校としての矜持はあるが分け隔て無く受け入れる、なんでも良いから一緒にやる、そんな精神があります。旦那衆が仕切っている所もありますが、立川にはそういうところはないですね（笑）

自身にとつて 早稲田大学とは



佐藤浩一 (さとうこうじ) 先輩



昭和四一年早大商卒、多
摩中央信金へ。国立支店長
などを経て、06年多摩信金
理事長、現在、立川商工会
議所会頭



その他にも沢山の方が
立川で活躍されています。

お名前	地域活動している団体名	役職
小林 章子	北多摩西地区保護司会立川分区	理事
	女性の視点を生かす会・アエネ	書記
相川 雅信	立川市青少年健全育成栄町地区委員会	委員長
丸本 和代	立川市文化協会	理事
中村 克久	立川市在宅医療・介護連携推進協議会	委員
	立川市社会福祉協議会	評議委員
宮木 博司	NPO立川市体育協会	会計
	立桜会	会計
波多野 進	立川市国際友好協会 (TIFA)	運営委員
	NPOたちかわ多文化共生センター	事業委員
	老人ホーム砂川園	ボランティア
鈴木 一廣	立川いっさい音楽まつり	会長
	立川楽市	企画運営委員
	立川シティハーフマラソン	実行委員
広瀬 俊夫	たちかわ市民交流大学市民推進委員会	委員
	西砂学習館運営協議会	委員
	立川ユネスコ協会	副会長
浅谷 佳秀	西砂アートクラブ	主宰
岩瀬 英治	立川市自治会連合会栄町支部	支部長
佐竹 茂市郎	NPOたちかわ多文化共生センター	専務理事
小林 和雄	NPOたちかわ多文化共生センター	理事



ここにも稻門の絆.. 同好会だより

同好会活動も盛んです。お気軽に代表者までご連絡ください！

稻 醉 会

五〇余名の参加を得て賑やかに開催することが出来ました。発足から二年が



平成29年2月 於：八王子「坂福」

平成九年に二四名の愛好者を集め、はじめて発足した。近隣各市の同好の氏も集い、今年は六五回目をアサヒビール本社のゲストルームにて

稻酔会を行うようになります。また、重ねるに従つて、昭島・福生・青梅・あきる野と合同

頃は市内の飲み屋に集まり、もっぱらお酒と雑談を楽しんでいましたが、回を

重ねるに従つて、昭島・福生・青梅・あきる野と合同



平成30年4月 於：アサヒビール本社

超えた伝統の一戦。早稲田

■ ■ 平成二九年一月二三日
■ ■ 早慶戦
■ ■ 秩父宮ラグビー場

早稲田ラグビーを愛する会

(長野)

経ち、今や会員の平均年齢は六五歳余、アルコールの量は次第に少くなり、思

い出の自慢話内に花が咲き、伝統文化芸能を楽しみながらの宴会が多くなってきました。最近はワインを

楽しむ人も増えてきましたので、有名なワインの里を訪ねてみたいと思います



平成24年7月に発足（市教育団体に登録済）し、稻門の皆さんの貴重な体験や趣味などについてうちとけた雰囲気の中で楽しむものです。

講師は主に会員が担当し、後半は受講者同士が積極的に発言しあいの交流に努めています。

人との出会いを大切に更に感性を磨き、視野を広め懇親をモットーに活動するものです。
(広瀬)

七年ぶりに観衆が二万人超えた伝統の一戦。早稲田

が、早稲田、慶應、明治が五勝二敗で同率二位になりました。

山下監督は、「相手の

ディフェンスで煽られ、小手先のプレーになつたとこ

が終盤の猛攻で23対21の逆転勝ちを收めました。

齊藤直人選手（二年）が決勝点を含む五本のキックを全て決め、四勝一敗で並んでライバルを制しました。

ト。参加者八名、終了後はいつもの懇親会場で大いに盛り上りました。
(天上)

談話サロン

（旧市役所跡）会議室
子供未来センター2階

1回／月第一火曜
開催日程
2:00 pm ~ 4:00 pm

散策の会

ゴルフ愛好会

若手の会

同好会一覧

(7) 2018年12月20日・第23号

平成二九年九月

根川彼岸花の丘、

浅川河畔 (一二名)

一〇月滝山城趾公園 (一二名)

一一月お茶会 (六名)

一二月根川、残堀川、
普濟寺巡りと納会 (一三名)

平成三〇年一月

谷中七福神巡り (七名)

二月皇居二の丸・本丸
公園と一周 (一一名)

四月羽村周辺
(郷土博物館他)

五月稻城市公園巡り
(一〇名)

九月小平霊園・野火止
通り、多摩湖サイクリ
ングロード (一〇名)

景色を楽しみながら、の
んびりと歩いています。

(長谷川)



同好会名	代表者	連絡先	開催日・参加人数・場所等
談話サロン	広瀬 俊夫	042-531-2687	毎月第二火曜日(除く8月) 14時~16時 参加費500円 先着20名様まで 立川市子ども未来センター会議室
散策の会	長谷川英夫	042-521-2624	毎月第三水曜日(除く7月8月)
稻酔会	長野 長正 鴛海 量良	042-566-1033 042-527-6191	不定期(年3回程度)
ゴルフ愛好会	田村 二葉	042-535-3878	不定期
早稲田ラグビー を愛する会	大上 保	042-536-0940	
若手の会	上野 竜造	042-843-8083	不定期
立川早稲女会	小林 章子	042-537-6149	不定期

平成八年五月一七日に第一回ゴルフ愛好会を開催いたしました。その後、年に一から三回開催していまし

た。平成二四年第三回から、江藤氏より田村が引き継ぎました。

ゴルフ愛好会有志は、小木曾氏を中心に月例会そして海外巡りもしました。平成

二九年からは、春夏秋冬二月・六月・九月・
(上野)

三月・六月・九月・

○年一二月には、五〇回の記念大会を迎えます。ここ

一から二年は、在職中の若いメンバーも増えました。

二〇名の会員ですが、大勢ご入会頂けますようお誘い申し上げます。
(田村)

暑気払い(7月)と忘年会(12月)を中心に、不定期ですが、懇親会を行っています。毎回、立川在勤の方のみならず、都内からも大勢の方が駆けつけてくれます。年齢層も「若手」と、銘を打っておりますが、60代後半の方もいらっしゃいますので、幅広い年代の方の参加をお待ちしております。

立川稻門かわら版

納涼の会 開催



酷暑も和らいだ八月一八日、恒例の「納涼の会」が、立川駅南口からほど近いレストラン「オアシス」で開催されました。



会長の挨拶に続き、本日の最長老古川剛久氏（昭和二八年商）の音頭により高エールにより、空もとどろに校歌大合唱。一〇月の総会での再会を約束して散会。和やかな真夏の夜の宴でした。

締めは小林和雄会長のエールにより、空もとどろに校歌大合唱。一〇月の総会では、身振りたっぷりに大昔の青春歌謡を絶唱。満場大喝采、実年齢とのギャップに一同みな抱腹絶倒。



稻門祭模擬店



観桜会



これから行事予定

- | | |
|------|---------------|
| 新年会 | 平成31年1月19日(土) |
| | レストラン オアシス |
| 観桜会 | 平成31年4月 |
| | 国営昭和記念公園(予定) |
| 納涼の会 | 平成31年8月(予定) |

新入会員紹介

- | | |
|--------|------------|
| ◇坂 滋子 | 平成28年 商 |
| ◇太刀岡貴司 | 平成7年 一文 |
| ◇中川 洋子 | 平成22年 国際教養 |
| ◇星野 邦男 | 昭和38年 理工 |



謹んでお悔やみを
申し上げます。

鈴木闊郎先輩

昭和36年経済卒

お悔やみ

編集後記

今年も、多くの方にご協力頂き、会報を作成することができました。この場をお借りして厚くお礼を申し上げます。特集では、立川市に密着し活躍されている校友の活動に注目して取り上げて行きました。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

(上野)